



## 読書活動

児童・生徒の読書離れが話題に上る事が多くなりました。電車の中でも、本や新聞を読んでいる人はめっきりと少なくなり、携帯やゲームなどの電子機器を使っている人々を見かける事が多くなりました。

先日の朝会では、『勉強は体力だ!』。なぜならば、姿勢を保つためにはそのための筋肉(背筋など)がしっかりしていなくては保つ事が大変です。音読するためには字を目で追うための筋肉(外眼筋など)や口やあごを動かす筋肉がしっかりしていなくては音読を続けていく事が大変です。だからそういった体力をつけていく事が大切です。」と子どもたちへ話をしました。

読書も同様です。いきなり始めようとしても、続けていく事は大変です。日頃からの積み重ねが大切です。

汐入小学校では、以前から、図書ボランティアをはじめ、図書担当の松田教諭や四ノ宮教諭、学校司書の矢田部さんなどの取り組みによって、図書室の整備が進んでいます。

今年度は、特に、図書室の本のバーコード管理に取り組んでいます。バーコード化のメリットとしては子どもたちの読む本の傾向(物語が好きか図鑑が好きかなど)や読書量の把握が素早くできます。把握できれば、50冊や100冊などの区切りで賞状を作成する事が簡単にでき、子どもたちの読書への励みになると考えています。また、傾向が分かれば、今後の本の購入予定に子どもたちの好みを直接盛り込む事ができます。こういった取り組みを重ねて、汐入の子どもたちの読書好きを伸ばしていきたいと考えています。ご家庭でも、子どもたちの読書についてお考えいただいたり話し合っただけであればうれしいです。



学校司書による読み聞かせ



火曜の朝読書



廊下の臨時学級文庫



整備された汐入小学校図書室



先日の学校説明会の折、連絡網の適切な使い方についてお願いをいたしました。マナーとしてのお電話の時間や内容などよろしく申し上げます。また、連絡網に関しては個人情報の流出防止も申し上げます。昨年度の学校だより（平成28年9月20日号）を載せますので、対応へのご理解とご協力をよろしく申し上げます。

## インターネット

夏休み中の教職員研修会にて、携帯電話やスマートフォン、インターネットや携帯ゲームなどについて改めて学ぶ機会がありました。

我が家でも、北海道に下宿していた次男と実家にいた長男がインターネットゲームの中で再会し、ゲームの中でお互いに近況報告していたり、母（妻）も交えて歓談（？）したりしている姿に、ネット世界の狭さを感じました。

ここで我が息子たちが苦労したことが『相手の確認』でした。ゲームのキャラクターとして目の前にいる人物は何者なのかを、自己紹介をしたり、質問をしたり、いろいろな会話をして押し量っていったようです。最期は携帯で連絡を取り合って確証を得たようでした。

ネットゲームのキャラクターだけではなく、LINE やツイッター、ブログやメールなどでどうやって『相手の確認』をとっていくのか、どうやって『相手は信頼がおける人物』だと確認していくのかを考えていくことが大切です。また、相手に対しては、常に伝えていることですが、『自分や人がいやがることはしない』を心がけていくことも大切です。

また、そういったつながりなどから得た個人情報を保護していくことも大切です。

携帯電話やスマートフォン、携帯ゲーム機器で写真だけでなく動画も撮影できるネット環境になってきました。また、それを簡単に送信したりネットに掲載することもできるようになっています。

自分や気が置けない仲間だけが写っている場合は送信や掲載も問題ないと思います。しかし、関係ない第三者が写っている場合はその方の事情も考えられますので、配慮を要する必要が出てきます。

画像や動画など手にした様々な情報を適切に活用するように考えていくことが個人情報の保護に取り組むために大切なことです。

汐入小学校の子どもたちを考えると、携帯電話やスマートフォン、インターネットや携帯ゲームなどに接している子どもは多いようです。今一度、『相手の確認』『相手は信頼がおける人物』『自分や人がいやがることはしない』の確認などご家庭で話し合ってみてください。また、個人情報の保護につきましては以下を参考にご理解とご協力をお願いします。

や動画など様々な個人情報を手にしていると思います。情報流出の防止にご協力ください。だからだそうです。